学校番号	320

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書Ⅱ　（光村図書）						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰをさらに発展させる学習方法を行います。甲骨文字、木簡文字を現代風に再現をしたり、漢字仮名交じりの書では詩や歌詞を心情豊かに、効果的に表現する力をつけます。
・仮名文字、篆隷行草から楷書に至るまで様々な書体をさらに深く学び、その成果を刻字作品の創作を通じて表現します。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式，多様性などについて理解を深めるとともに，書の伝統に 基づき，効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力】
書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育む とともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式，多様性などについて理解を深めるとともに，書の伝統に基づき，効果的に表現するための技能を身に付けている。	書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにしている。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育む とともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会 を創造していく態度が現れている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション 作品鑑賞 仮名の書 ・単体・連綿・変体仮名を学ぶ ・俳句創作	・芸術科書道Ⅱの説明 ・室内、廊下250点の作品鑑賞 ・小筆の扱い、持ち方について ・連綿・変体仮名について ・散らし書きに学ぶ	a:書道の芸術性を理解している。 b:作品の内面にまで踏み込んだ鑑賞文になっている。 c:自分の考えを持ち積極的に参加している。 a:連綿線が美しくできている。変体仮名を理解している。 b:墨色の変化や連綿の意図がわかっている。 C:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
	甲骨文を現代風にアレンジする	・漢字の起源と 占い文字の説明 象形文字の解読 ・文字集より臨書する ・好きな造形文字を集め骨片のふちを書き甲骨片を再現する。	a:漢字の起源と使われ方を理解している。篆書の用筆ができる b:文字集より集字し、骨片の形を考え、文字を効果的に配置している。 c:発掘されたばかりの本物の甲骨片のようなリアル感を出そうとしている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
	篆書の学習 木簡文字	・木簡文字の成り立ち　占い文字から記録文字への説明 ・木簡文字集より文字を選び、画数、大小、造形を考え再構成する。 ・条幅縦半分紙にマイ木簡として表現する。	a:木簡を文字の成り立ちを理解し、隷書体の筆法かできる。 b:造形、画数、得意文字などを臨書する中から見極めている。マイ木簡のデザインが工夫されている。 c:主体的に当時の木簡のイメージを描き、マイ木簡の制作に熱心に取り組んでいる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
2学期	漢字仮名 交じりの書	・現代の日常の文字で詩や歌を表現する	a:漢字仮名交じりの書で表現する意図を理解している。 b:効果的に感情が伝わるような工夫がされている。 c:構成パターンを変えた作品にも取り組んでいる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ

	草書の学習 十七帖･書譜 草書6古典 より条幅制作 十七帖 国申文帖 離洛帖 中秋帖 自叙帖 忽恵帖	・草書の美を表現する ・王羲之の作品を鑑賞する ・書譜を臨書する ・条幅作品として６つの行草古典より１つを選択して臨書する	a: 草書の筆法ができる。草書体と王羲之について理解している。 選択した条幅各品の特徴を捉えている。 b: 筆脈を意識し、造形性と空間の美を表現している。 ６つの古典の中､どの作品に取り組むかをよく考えている。 c: 試行錯誤を重ね、筆使いと文字造形を研究している。 自ら熱心に取り組み条幅全体を視野にいれて書く姿勢が見られる。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ
３学期	刻字の学習	・表現したい文言を５書体、仮名、漢字仮名交じりの書で創作して木に刻す。 ・デザインをし、草稿を作り、木に貼り付ける ・彫刻刀を使い刻す ・バーナーで焼く、色づけ・ニス等で仕上げる	a: 様々な知識を使い表現する題材を模索検討して草稿を作っている。彫る技法、技術に工夫が見られる。 b:題材に込められた意図や考えが効果的に表現されている。焼く､彩色等仕上げ方に創造性がある。 c: 集中力をもって取り組んでいる。展示作品を何度も鑑賞し、自分の作品の参考としている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度